

2025 年 10 月 2 日
アストモスエネルギー株式会社

海外でのグリーン LP ガス共同検討に関する 基本合意書（MOU）延長について

アストモスエネルギー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山中光、以下「当社」）、古河電気工業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森平英也、以下「古河電工」）、および SHV Energy N.V.（本社：オランダ・ホーフトドルプ、CEO：Patrick van der Voort、以下「SHVE」）の 3 社は、グリーン LP ガスの海外における製造・供給に向け 2023 年に締結した基本合意書（MOU）の延長を決定しました。

■ 背景

当社は、2006 年に出光興産グループと三菱商事グループの LP ガス部門が統合して設立後、LP ガスの三国間取引や輸入事業を主軸とし、世界中で LP ガスを輸送・供給しています。

古河電工は 2050 年カーボンニュートラル実現と持続可能なエネルギーの安定供給に向け、これまでに培ってきたメタルとポリマーの製造・加工技術を生かして、ふん尿由来のバイオガスを合成ガスに変換して高い選択率のプロパンを含む LP ガスを合成する触媒プロセスを独自開発しました。

SHVE は、LP ガスや LNG などのエネルギーの世界有数の小売事業者であり、持続可能な未来の実現に向けて、バイオ LPG や再生可能 DME などの次世代エネルギーの導入・普及に積極的に取り組んでおり、グリーンエネルギーの社会実装において業界をリードする存在です。

2023 年に締結した MOU に基づき、当社、古河電工、SHVE の 3 社は、古河電工が有する独自の触媒技術やプロセス開発力と、当社および SHVE が持つ国際的な LP ガスの供給網や商業化に関する豊富な知見を掛け合わせ、グリーン LP ガス技術のラボ検証、プロセス設計と開発および経済性分析を進めてまいりました。

■ 内容

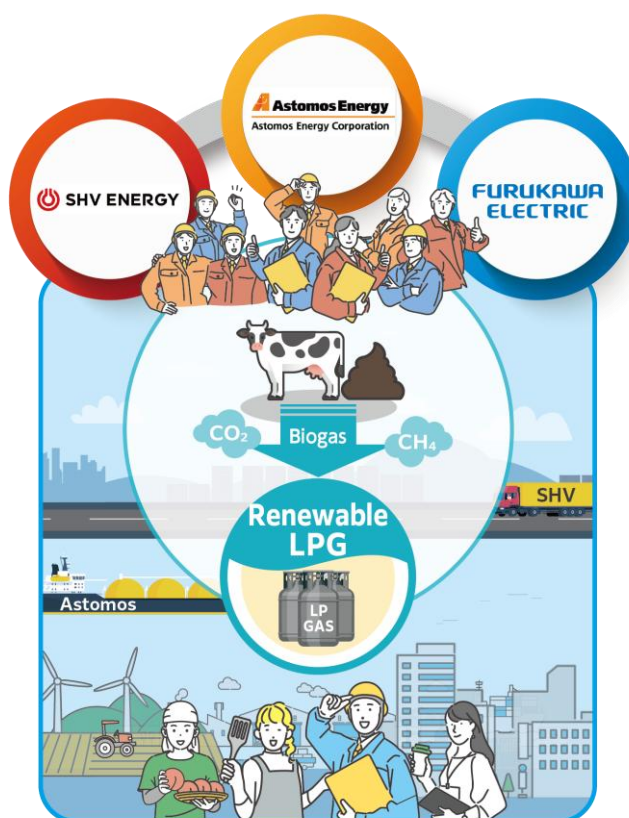
今回、当社、古河電工、SHVE の 3 社は、本 MOU の延長を決定しました。2023 年に MOU を締結して以降、約 2 年間にわたる共創を通じて得られた成果から、グリーン LP ガス事業が有望であると判断したためです。

具体的にはこれまでの 3 社での共創活動により、古河電工が開発した高選択率でプロパンを合成する触媒およびプロセスの実現可能性をラボスケールで確認できたことに加え、今後さらに追加の共創活動を進める

ことで、有望な事業への成長を期待できると判断し、検討期間を延長し海外での事業化に向けた取り組みを着実に進めていくことで合意しました。

今回延長を決定した MOU では、今後当社が進めるベンチスケールでのグリーン LP ガス実証により得られるデータを活用し、プロセスの連続運転やスケールアップの検証を行います。また、当社および SHVE の知見を活かし、詳細な経済性分析を実施するとともに、具体的な事業地域の選定や輸送プランの策定を進める予定です。

(注) MOU : Memorandum of Understanding の略。



関連ニュースリリース

(当社発表) 化石燃料によらないグリーンな LP ガスのサプライチェーン構築に向けて

https://www.astomos.jp/zwp/wp-content/uploads/2022/05/news_20220524.pdf

(当社発表) 海外でのグリーン LP ガス共同検討に関する基本合意書(MOU)締結について

<https://www.astomos.jp/zwp/wpcontent/uploads/2023/11/NewsRelease20231114.pdf>

■ お問い合わせ先

アストモスエネルギー株式会社

人事総務部 進藤

E-MAIL : kuniaki.shinto@astomos.com

以 上